

内科必修－2 循環器内科

一般目標

- ① 循環器疾患における診断、治療についての基本的な知識や技術を習得する。
- ② 循環器救急医療における診断、救急処置法・治療法を習得する。
- ③ 症例のプレゼンテーションを適切に行える。
- ④ 適切なインフォームド・コンセントが行える。
- ⑤ 学会、研究会での症例報告を積極的に行う。

具体的目標

1. 循環器疾患の診断に必要な検査を実施し、読影できる。
 - ① 心電図
 - ② 心エコー検査

2. 循環器疾患の診断に必要な検査法の適応を決定し、結果を解釈できる。
 - ① 胸部単純 X 線検査
 - ② ホルター心電図
 - ③ 運動負荷心電図
 - ④ 胸部 CT 検査、大動脈 CT 検査
 - ⑤ 心臓核医学検査
 - ⑥ 心臓カテーテル検査

3. 循環器疾患の基本的治療を理解し施行できる。
 - ① 心肺蘇生術、基本的救急処置、ショックの診断と治療、心不全の診断と治療
 - ② 薬物療法（心不全治療薬、抗狭心症薬、降圧剤、抗不整脈薬、抗凝固薬、高脂血症薬など）
 - ③ 輸液管理、呼吸管理
 - ④ 電氣的除細動
 - ⑤ 循環器疾患の心臓リハビリテーション

4. 循環器疾患の基本的治療を理解できる。

非薬物療法（PCI、IABP、人工ペースメーカー、カテーテルアブレーションなど）

（疾患）

1. 虚血性心疾患
 - 1) 狭心症

2) 心筋梗塞

2. 不整脈

1) 期外収縮

2) 発作性上室頻拍

3) 心房細動・粗動

4) WPW 症候群

5) 心室頻拍・心室細動

6) QT 延長症候群

7) 洞不全症候群

8) 房室ブロック

3. 弁膜症

1) 僧帽弁狭窄

2) 僧帽弁閉鎖不全

3) 大動脈弁狭窄

4) 大動脈弁閉鎖不全

5) 連合弁膜症

4. 感染性心内膜炎

1) 細菌性心内膜炎

5. 先天性心疾患

1) 心房中隔欠損

2) 心室中隔欠損

6. 心膜疾患

1) 急性心膜炎(突発性、SLE に合併するもの、その他)

7. 心筋疾患

1) 心筋症

2) 心筋炎

8. 心不全

1) 心不全

実臨床研修

- ・ チーム体制の中で担当患者を受け持つ。
- ・ 担当患者の病歴、診察所見、検査所見などをカルテに記載する。指導のもとに評価、方針も記載する。退院時サマリーは退院時に速やかに作成する。
- ・ 担当患者の検査にも参加する。
- ・ 毎朝、夕に担当患者の回診を行い、各々の患者に行った行動、情報をもとに分析

第3節 循環器内科〔選択科向け研修〕

一般目標

- ⑥ 循環器疾患における診断、治療についての基本的な知識や技術を習得する。
- ⑦ 循環器救急医療における診断、救急処置法・治療法を習得する。
- ⑧ 症例のプレゼンテーションを適切に行える。
- ⑨ 適切なインフォームド・コンセントが行える。
- ⑩ 学会、研究会での症例報告を積極的に行う。

具体的目標

- 1. 循環器疾患の診断に必要な検査を実施し、読影できる。
 - ③ 心電図
 - ④ 心エコー検査
- 2. 循環器疾患の診断に必要な検査法の適応を決定し、結果を解釈できる。
 - ⑦ 胸部単純X線検査
 - ⑧ ホルター心電図
 - ⑨ 運動負荷心電図
 - ⑩ 胸部CT検査、大動脈CT検査
 - ⑪ 心臓核医学検査
 - ⑫ 心臓カテーテル検査
- 3. 循環器疾患の基本的治療を理解し施行できる。
 - ⑥ 心肺蘇生術、基本的救急処置、ショックの診断と治療、心不全の診断と治療
 - ⑦ 薬物療法（心不全治療薬、抗狭心症薬、降圧剤、抗不整脈薬、抗凝固薬、高脂血症薬など）
 - ⑧ 輸液管理、呼吸管理
 - ⑨ 電氣的除細動
 - ⑩ 循環器疾患の心臓リハビリテーション
- 4. 循環器疾患の基本的治療を理解できる。
 - 非薬物療法（PCI、IABP、人工ペースメーカー、カテーテルアブレーションなど）

（疾患）

- 1. 虚血性心疾患
 - 1) 狭心症

2) 心筋梗塞

2. 不整脈

1) 期外収縮

2) 発作性上室頻拍

3) 心房細動・粗動

4) WPW 症候群

5) 心室頻拍・心室細動

6) QT 延長症候群

7) 洞不全症候群

8) 房室ブロック

3. 弁膜症

1) 僧帽弁狭窄

2) 僧帽弁閉鎖不全

3) 大動脈弁狭窄

4) 大動脈弁閉鎖不全

5) 連合弁膜症

4. 感染性心内膜炎

1) 細菌性心内膜炎

5. 先天性心疾患

1) 心房中隔欠損

2) 心室中隔欠損

6. 心膜疾患

1) 急性心膜炎(突発性、SLE に合併するもの、その他)

7. 心筋疾患

1) 心筋症

2) 心筋炎

8. 心不全

1) 心不全

実臨床研修

- ・ チーム体制の中で担当患者を受け持つ。
- ・ 担当患者の病歴、診察所見、検査所見などをカルテに記載する。指導のもとに評価、方針も記載する。退院時サマリーは退院時に速やかに作成する。
- ・ 担当患者の検査にも参加する。
- ・ 毎朝、夕に担当患者の回診を行い、各々の患者に行った行動、情報をもとに分析を行う。

- ・ 毎朝、夕に行われる循環器内科のカンファレンスにて担当患者の治療経過について報告する。
- ・ 救急外来および循環器外来での急患患者の診療に当たる。
- ・ 週一回、論文の抄読会を行う(発表者は持ち回り)。
- ・ 毎週木曜日、朝のカンファレンス後の部長回診に参加する。
- ・ 毎週金曜日 9時からの多職種カンファレンスに参加する。
- ・ 機会があれば、研究会や学会などで発表を行う。

研修評価

- ・ 自己評価および指導医からの簡単な評価をおこなう。
- ・ 適宜評価を行いながら、研修最終日にまとめを行う。
- ・ ローターション終了後に研修評価表にて部長と指導医が評価をおこなう。

■循環器内科 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	(土)	(日)
午前	カンファレンス 病棟・外来・検査室などでの診療業務	カンファレンス 病棟・外来・検査室などでの診療業務	抄読会/カンファレンス 病棟・外来・検査室などでの診療業務	カンファレンス/部長回診 病棟・外来・検査室などでの診療業務	多職種カンファレンス 病棟・外来・検査室などでの診療業務		
午後	病棟・外来・検査室などでの診療業務 カンファレンス	病棟・外来・検査室などでの診療業務 カンファレンス	病棟・外来・検査室などでの診療業務 カンファレンス	病棟・外来・検査室などでの診療業務 カンファレンス	病棟・外来・検査室などでの診療業務 カンファレンス		

※必修科の研修内容に加えて、上級医の指導のもと、右心カテーテル検査や動静脈ラインの確保、中心静脈カテーテル挿入などの実技を習得する